

## 成蹊大学文学部規則

制 定 昭和39年9月24日  
学 園 理 事 会  
最新改正 2022年1月21日  
常 務 理 事 会

### 第1章 総則

(趣旨)

**第1条** 成蹊大学文学部（以下「学部」という。）に関する事項は、成蹊大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

2 学則及びこの規則に特別の定めのある場合を除いて、学部に関する事項は、教授会の議を経て学部長が定める。

(教育研究上の目的)

**第1条の2** この学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、文化現象の総合的理解及びその継承を基本理念とし、その実現のために、少人数教育を基本とする教養教育及び専門教育との適切な調和を考慮したきめ細かなカリキュラムによって、問題発見能力及び多面的な分析能力の伸長を図ること、並びに言葉を通して形づくられた人間、歴史及び社会の多様なあり方を考究し、共感を持って他者を理解する能力及び自己を他者に正確に伝達する能力を涵養することによって、社会的な活動を自律的に展開するための基礎を構築することとする。

2 この学部の各学科における目的は、次のとおりとする。

#### (1) 英語英米文学科

ア 英語を学ぶことにより、言語そのものに対する意識を培い、英語圏の英米文学・文化を学ぶことにより、文化が言葉によって成り立つことを理解することを通して、自国の文化及び異文化を相対化して読み解く力を養成する。

イ 外国語としての英語の運用能力を強化し、英語圏の言語、社会、文化、コンテクスト、芸術及び思想について幅広く理解することを通して、真の国際感覚を備えた人材及び日本の英語教育に貢献する人材を養成する。

#### (2) 日本文学科

ア 日本語学及び日本文学を学ぶことにより初めて修得することが可能となる、高度で柔軟な日本語運用力を身につけるとともに、日本人及び日本文化についての幅広く体系的な教養及び深い理解を獲得し、それらを社会生活において有効に活用しつつ、次の時代に受け渡すことのできる人材を養成する。

イ 多様な国際社会の中で、自らの文化的特性に立脚しつつ自律的に行動できる基礎的な判断力及び自らの思いを積極的に伝えることのできる豊かな表現力を備えた人材を養成する。

#### (3) 国際文化学科

ア 歴史・地域文化研究、文化人類学及び国際関係研究に跨る専門科目を学ぶことを通して、世界に関する広い知見と深い教養を修得させるとともに、情報収集・分析能力に加え、国内外で通用するコミュニケーション能力を養成する。

イ 歴史及び文化を視座としながら、世界を時空的な広がりの中で理解し、グローバル化の中で複雑さを増す現代及び未来と向き合う柔らかな力を涵養する。

ウ 世界及び社会が直面する諸課題に柔軟に対処でき、かつ、異文化理解の実践を通じて、文化間の架け橋となりうる自律的な人材を養成する。

#### (4) 現代社会学科

ア 社会学、メディア研究の理論及び実証的研究法を通じて、社会を理解するための基本的枠組みを修得させるとともに、少人数による演習及び社会实践を通じて、自らの課題を設定できる問題発見力、過去から現在に至る資料を調査できるリサーチ力及び他者に対して説得的に表現するアカデミックスキルを養成する。

イ 前号に規定する教育を通じて、現代社会の抱える諸問題を、その背景にまで遡って多角的に検討できる思考力並びに状況に的確に対応できる判断力及び行動力を兼ね備えた人材を養成す

る。

(学科所属)

**第2条** 学科所属は、学生の志望に基づき、入学のときに決定する。

## 第2章 教育課程及び履修方法

(教育課程)

**第3条** 学部を卒業するために必要な修得単位数は、別表第1に定める。

- 2 学則第35条第1項の全学共通科目における授業科目の名称、単位数、配当年次及び配当タームは、学則別表第1に定めるとおりとし、当該科目の履修方法については、別に定める。
- 3 学則第35条第3項の教職課程科目における授業科目の名称、単位数、配当年次及び配当タームは、学則別表第1の2に定めるとおりとし、当該科目の履修方法については、別に定める。
- 4 この学部が開設する授業科目の名称、単位数、配当年次、配当ターム及び履修方法は、別表第2及び別表第3に定めるとおりとする。
- 5 学生は、他の学部にものみ開設されている授業科目を履修しようとするときは、あらかじめこの学部の学部長及び関係学部の学部長の許可を受けなければならない。
- 6 前項の履修により修得した単位は、在学期間を通じて16単位まで、第1項及び第12条の単位の一部とすることができる。この場合において、修得した単位は、自由設計科目の複合・学際科目の単位として算入するものとする。
- 7 外国人留学生については、学修の必要に応じて、別に定める日本語科目及び日本事情等に関する科目を履修し、学則別表第1に掲げる授業科目の一部に振り替えることができる。
- 8 前項の規定は、外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間中等教育を受けたものについて準用する。

**第4条** 削除

**第5条** 削除

(日本語教員養成コース)

**第6条** 日本語教員の養成のためのコースの修了の認定を受けようとする学生は、学部の定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

- 2 日本語教員養成コースに関し必要な事項は、別に定める。

(芸術文化行政コース)

**第7条** 芸術文化行政コースの修了の認定を受けようとする学生は、学部の定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

- 2 芸術文化行政コースに関し必要な事項は、別に定める。

(社会調査士課程)

**第8条** 社会調査士の資格を取得しようとする学生は、学部の定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

- 2 社会調査士の資格の取得に関し必要な事項は、別に定める。

**第9条** 削除

(授業時間割等)

**第10条** 授業時間割等については、年度又は学期の始めに公示する。

(履修登録)

**第11条** 学生は、年度又は学期の始めに履修科目の登録をしなければならない。

- 2 学生は、現に在籍する年次の上位年次に配当されている授業科目及び既に単位を修得した授業科目を履修することができない。ただし、学部長が教育上必要と認めるものについては、この限りでない。
- 3 各年度において履修することができる単位数は、教職の教科に関連する科目及び教職課程科目を除き、44単位(一つの学期については26単位。)を超えることができない。ただし、学部長が教育上必要と認めるときは、この限りでない。
- 4 学部長は、教育上必要と認めるときは、第3項に規定する単位数を超えて履修登録を認める授業科目を置くことができる。

(進級基準)

**第12条** 各年次において、別表第4に定める授業科目を履修し、単位を修得していない学生は、次の

年次に進級することができない。

(他大学等において修得した単位等の認定)

**第13条** 学則第37条の2から37条の4までの規定に基づき、学生が在学中又は入学前に他の大学等において修得した単位又は行った学修の学部における単位の認定については、別に定める。

### 第3章 試験及び成績

(学期末試験)

**第14条** 学期末試験は、学期末において行う。ただし、学部長が必要と認めるときは、その他の時期においても行うことができる。

(追試験)

**第15条** 所定の試験日に試験を受けることができなかった学生に対しては、欠席の理由が傷病、忌引その他やむを得ないものと認められる場合には、願い出により追試験を行う。

2 追試験に関し必要な事項は、別に定める。

(授業科目修了の認定等)

**第16条** 履修登録をした学生についての授業科目の修了の認定は、当該授業科目の担当教員が行う。

2 成績の評価は、成績表に記入し、本人に交付する。

### 第4章 卒業

(卒業の要件)

**第17条** この学部を卒業するためには、所定の修業年限以上在学し、かつ、別表第1に定める単位を修得しなければならない。

### 第5章 学士入学、転入学、編入学、再入学、転部、転科及び留学

(学士入学)

**第18条** 次の各号のいずれかに該当する者は、学則第24条の規定に基づき、入学を許可することができる。

(1) この学部の一つの学科を卒業して他の学科に入学を志願する者

(2) この大学の他の学部を卒業してこの学部に入學を志願する者

(3) 他の修業年限4年以上の大学の学部を卒業してこの学部に入學を志願する者

**第19条** 前条の規定により入学を志願する者については、別に定めるところにより、入学試験を行う。ただし、前条第1号に該当する者については、入学試験を行わない。

**第20条** 第18条の規定により入学した学生（以下「学士入学者」という。）の修業年限は、2年とする。

(学士入学者の単位の認定)

**第21条** 第18条第1号に該当する学士入学者については、既にこの学部において履修し、その試験に合格した授業科目のうち、当該所属学科の授業科目でもあるものについて、その履修及び試験を免除し、これを当該所属学科の卒業に必要な単位に算入する。

2 第18条第2号及び第3号に該当する学士入学者は、当該所属学科の専門科目を履修し、その試験に合格しなければならない。

3 学部長は、前項の学生が既に他の大学又は他の学部で修得した単位のうち、卒業に必要な単位に算入し得るものを認定することができる。

(転入学者等の単位の認定)

**第22条** 学則の規定に基づき転入学、編入学、転部及び転科をした学生については、学部長は、その学生が既に他の大学又は他の学部若しくは学科で修得した単位のうち、卒業に必要な単位に算入し得るものを認定することができる。

(再入学)

**第23条** 学則第25条の規定に基づき再入学を許可された学生は、退学前に所属した学科に所属するものとし、その在学期間は、退学前の在学期間を通算する。

2 前項の学生が退学前に履修した授業科目及び修得した単位の認定については、第21条第1項の規定を準用する。この場合において、単位を認定された授業科目の成績評価の表示は、従前の表示のとおりとする。

(転科)

**第24条** 転科を志願する学生については、学則第28条の規定に基づき、教授会の議を経て選考の上、転科を許可することがある。

(留学)

**第25条** 学生の留学に関する手続、履修の取扱い、単位の認定等に関し必要な事項は、別に定める。

(成績不振学生)

**第26条** 学生が、学期ごとのGPAが3学期間連続して1.0未満である場合は、学則第39条の2の規定に基づく成績不振学生とする。

2 成績不振学生には、専任教員による個別指導を行うものとする。

(退学勧告等)

**第27条** 前条第2項に規定する個別指導を受けなかった成績不振学生には、学則第32条第2項の規定に基づき、退学を勧告する。ただし、学部長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 退学勧告を受けた学生が、その後も改善の見込みがない場合は、学則第33条第3号の規定による除籍又は学則第55条第2号の規定による懲戒退学とすることができる。

附 則 (略)

別表第1 卒業に必要な修得単位数 (第3条関係)

1 英語英米文学科

科目区分			区分別必要単位数		卒業に必要な 修得単位数	
全 学 共 通 科 目	外国語	必修	4	16 以上		28
		英語科目	選択必修		2	
			選択			
		初修外国語科目				
	技能	日本語力科目				
		キャリア教育科目				
		情報基盤科目				
		健康・スポーツ科目				
	教養基礎	人文学	8 以上			
		社会科学				
		自然科学				
	持続社会探究	実践				
		環境・地域				
国際理解						
人権・共生						
専 門 科 目	必修科目	英語必修科目			14	38
		演習科目	24			
	選択科目	メインフォーカス	8以上	28 以上		
		他フォーカス	8以上			
		英語選択科目 関連科目	1			
自 由 設 計 科 目	文学部共通科目	トピック・セミナー	30 以下			
		ことばの世界				
		東洋文庫連携科目				
		芸術文化行政コース開設科目				
		日本語教員養成コース開設科目				
		文学部総合講義				
	複合・学際科目	全学共通科目 超過単位	96			
		EAGLE科目 他学科・他学部・他大学				

(注) 自由設計科目のうち、全学共通科目超過単位は、6単位まで卒業に必要な修得単位数に算入する。

2 日本文学科

科目区分			区分別必要単位数		卒業に必要な 修得単位数	
全学 共通 科目	外国語	英語科目	必修	4	28	
			選択必修	2		
			選択			
		初修外国語科目		16 以上		
	技能	日本語力科目				
		キャリア教育科目				
		情報基盤科目				
		健康・スポーツ科目				
	教養基礎	人文科学	8 以上			
		社会科学				
		自然科学				
	持続社会探究	実践				
		環境・地域				
国際理解						
人権・共生						
専門 科目	必修科目	基礎科目			10	38
		基本ゼミ科目			28	
	選択科目	文学史科目			4以上	32 以上
		日本語学講義科目			4以上	
		日本文学講義科目				
		学際科目				
		日本探究科目				
		日本語力錬成科目				
自由 設計 科目	文学部共通科目	トピック・セミナー	26 以下			
		ことばの世界				
		東洋文庫連携科目				
		芸術文化行政コース開設科目				
		日本語教員養成コース開設科目				
		文学部総合講義				
	複合・学際科目	全学共通科目 超過単位				
		E A G L E 科目				
		他学科・他学部・他大学				

(注) 自由設計科目のうち、全学共通科目超過単位は、6単位まで卒業に必要な修得単位数に算入する。

3 国際文化学科

科目区分			区分別必要単位数		卒業に必要な 修得単位数	
全学 共通 科目	外国語	英語科目	必修	4		28
			選択必修	2		
			選択			
	技能	初修外国語科目			16 以上	
		日本語力科目				
		キャリア教育科目				
		情報基盤科目				
	教養基礎	健康・スポーツ科目			8 以上	
		人文科学				
		社会科学				
	持続社会探究	自然科学				
		実践				
		環境・地域				
		国際理解				
専門 科目	必修科目	演習系科目		26		40 以上
		選択必修科目	国際関係科目			
	文化人類学科目		6以上			
	歴史・文化研究科目		6以上			
	選択科目	広域科目				
広域基礎科目						
自由 設計 科目	文学部共通科目	トピック・セミナー		30 以下		
		ことばの世界				
		東洋文庫連携科目				
		芸術文化行政コース開設科目				
		日本語教員養成コース開設科目				
	複合・学際科目	文学部総合講義				
		全学共通科目 超過単位				
		E A G L E 科目				
他学科・他学部・他大学						

(注) 自由設計科目のうち、全学共通科目超過単位は、外国語科目についてのみ卒業に必要な修得単位数に算入する。

4 現代社会学科

科目区分			区分別必要単位数		卒業に必要な 修得単位数
全学 共通 科目	外国語	英語科目	必修	4	28
			選択必修	2	
			選択		
		初修外国語科目		16 以上	
	技能	日本語力科目			
		キャリア教育科目			
		情報基盤科目			
		健康・スポーツ科目			
	教養基礎	人文科学	8 以上		
		社会科学			
自然科学					
持続社会探究	実践				
	環境・地域				
	国際理解				
	人権・共生				
専門 科目	必修科目	必修専門		12	36
		演習科目		24	
	選択科目	社会学基礎		34 以上	
		社会学発展			
		調査科目			
		メディア研究基礎			
		メディア研究発展			
		実践科目			
		現代社会研究			
	広域基礎科目				
自由 設計 科目	文学部共通科目	トピック・セミナー	26 以下		
		ことばの世界			
		東洋文庫連携科目			
		芸術文化行政コース開設科目			
		日本語教員養成コース開設科目			
		文学部総合講義			
	複合・学際科目	全学共通科目 超過単位			
		E A G L E 科目			
		他学科・他学部・他大学			
			96	124	

(注) 自由設計科目のうち、全学共通科目超過単位は、6単位まで卒業に必要な修得単位数に算入する。



別表第2 (第3条関係)

1 英語英米文学科

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム							
		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
専 門 科 目	必修科目	Summer Intensive 140② Integrated English 141②							
		Integrated English 241②							
		Integrated English 341②							
		Integrated English 441②							
		Integrated English 541②				Integrated English 641②			
	必修科目	セミナー100②							
		セミナー200②							
		セミナー300②							
		セミナー400②				セミナー500②			
						セミナー600②			
選 択 科 目	フォーカス (言語と 社会)	英語学入門 210②		英語音声学 311② 英語史A 312② 翻訳・通訳学A 313② English Around the World 314② 対人関係の言語学 315② 社会言語学 316② 英語学研究基礎A317② 英語学研究基礎B318②					
				音声分析 411② 英語史B412② 翻訳・通訳学B413② 英文法 414② 英語学研究発展A415② 英語学研究発展B416② 英語学研究発展C417②					
				英語圏文化入門 220②					
				英語圏文化 321 (精神分析) ② 英語圏文化 323 (ジェンダー) ② 英語圏文化 322 (コミュニケーション) ② 英語圏文化 324 (人種) ② 英語圏文化研究基礎A325 ② 英語圏文化研究基礎B326 ② 英語圏文化研究基礎C327 ②					
	フォーカス (文化とコ ンテキスト)			英語圏文化 421 (戦争) ② 英語圏文化 422 (複言語・複文化主義) ② 英語圏文化 423 (ポストコロナリズム) ② 英語圏文化 424 (レイシズム) ② 英語圏文化 425 (児童文学) ② 英語圏文化 426 (英語教育) ② 英語圏文化研究発展A 427 ② 英語圏文化研究発展B 428 ②					
				英語圏芸術・文学入門 230②					
	フォーカス (芸術と 思想)			アメリカ文学史 331② イギリス文学史 332② 音楽芸術研究基礎 333② 視覚芸術研究基礎A334 (映画) ② 視覚芸術研究基礎B335 (画像) ② 舞台芸術研究基礎 336② 英語圏芸術と文学研究基礎 337②					
				英語圏芸術・文学A431 (インターテクスチュアリティ) ② 英語圏芸術・文学B432 (ボディ・アンド・マインド) ② 英語圏思想A433 (近代以前) ② 英語圏思想B434 (現代) ② 宗教と芸術 435② 批評理論 436② 21世紀の英語圏芸術と文学 437② 英語圏芸術と文学ワークショップ 438②					
	英語選択 科目	Grammar Basics 142①							
						Writing for Academic Purposes 343②			
関連科目	ヨーロッパの歴史と文化A② アメリカの歴史と文化A②								
					ヨーロッパの歴史と文化B② アメリカの歴史と文化B②				

科目区分			授業科目・単位数・年次・ターム											
			1年次		2年次		3年次		4年次					
			第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8				
					ヨーロッパ文化・文化史特講A②		ヨーロッパ文化・文化史特講B②							
					アメリカ文化・文化史特講A②		アメリカ文化・文化史特講B②							
					英語・英米文学研究A②		英語・英米文学研究B②							
					英語・英米文学研究C②		英語・英米文学研究D②							

2 日本文学科

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム										
		1年次		2年次		3年次		4年次				
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8			
専 門 科 目	基礎科目	日本語・日本文学入門Ⅰ②		日本文学研究の基礎②		日本語研究の基礎②						
		日本語・日本文学入門Ⅱ②		日本語法②								
	基本ゼミ目			古典文学基礎研究Ⅰ②		近現代文学基礎研究Ⅰ②						
				日本語学基礎研究Ⅰ②		古典文学基礎研究Ⅱ②		近現代文学基礎研究Ⅱ②				
						日本語学基礎研究Ⅱ②		日本文学演習Ⅰ②		日本語学演習Ⅰ②		
								日本文学演習Ⅱ②		日本語学演習Ⅱ②		
										日本文学演習Ⅲ②	日本語学演習Ⅲ②	
										日本文学演習Ⅳ②	日本語学演習Ⅳ②	
										卒業論文⑧		
文学史科目	古典日本文学史A②		古典日本文学史B②		近現代日本文学史A②							
日本語学講義科目	日本語の歴史A②		日本語の歴史B②									
日本文学講義科目			日本語学講義A②		日本語学講義B②		日本語学講義C②		日本語学講義D②	日本語学講義E②	日本語学講義F②	
			文学作品をどう読むか②									
			古代日本文学講義A②		古代日本文学講義B②							
			古代日本文学講義C②		古代日本文学講義D②							
			中世日本文学講義A②		中世日本文学講義B②							
			中世日本文学講義C②		中世日本文学講義D②							
			近世日本文学講義A②		近世日本文学講義B②							
			近世日本文学講義C②		近世日本文学講義D②							
		近現代日本文学講義A②		近現代日本文学講義B②								
		近現代日本文学講義C②		近現代日本文学講義D②								
		近現代日本文学講義E②		近現代日本文学講義F②								
学際科目	比較文学A②		比較文学B②		漢文基礎②							
	日本語・日本文学総合テーマ講義A②		日本語・日本文学総合テーマ講義B②		日本語・日本文学総合テーマ講義C②		日本語・日本文学総合テーマ講義D②		日本語・日本文学総合テーマ講義E②			
日本探究目	日本探究特別講義A②		日本探究特別講義B②		日本美術史A②		日本美術史B②		日本民俗学A②	日本民俗学B②	日本の文学と思想②	日本演劇史②
	物語と絵画②		貴族社会の暮らしと文学②									
日本語力錬成科目	日本語を正しく話す②				創作講座②		日本語表現の特質②		応用日本語講座②			

3 国際文化学科

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム								
		1年次		2年次		3年次		4年次		
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	
専 門 必 修 科 目	必修科目	演習系目	基礎演習Ⅰ②							
			基礎演習Ⅱ②				基礎演習Ⅲ② 国際文化英語演習②			
			基礎演習Ⅳ②				演習Ⅰ②			
							演習Ⅱ②			
	選択科目	国際関係科目	国際関係論入門②		平和学入門②					
			国際文化論②		国際政治経済学②		国際協力論②			
		文化人類学科目	国際関係論特講A②		国際関係論特講B②					
			平和学特講A②		平和学特講B②		グローバル・イシューズ②			
			文化人類学入門Ⅰ②		民族文化論②					
			文化人類学入門Ⅱ②		フィールドワーク論②					
歴史・文化研究科目	文化人類学特講Ⅰ②		グローバル化の人類学②		現代人類学②					
			文化人類学特講Ⅱ②							
	歴史学入門②		比較文化研究A②							
	ヨーロッパの歴史と文化A②		ヨーロッパの歴史と文化C②							
	アメリカの歴史と文化A②		日本の歴史と文化A②							
	アジア・太平洋の歴史と文化A②		アジア・アフリカの歴史と文化A②							
	ヨーロッパの歴史と文化B②		ヨーロッパの歴史と文化D②							
	アメリカの歴史と文化B②		日本の歴史と文化B②							
アジア・太平洋の歴史と文化B②		アジア・アフリカの歴史と文化B②								
比較文化研究B②		古典文化研究A②		古典文化研究B②						
地域文化研究A②		地域文化研究B②		地域文化研究C②						
地域文化研究D②										
選択科目	広域科目	ヨーロッパ文化・文化史特講A②		ヨーロッパ文化・文化史特講B②						
		ヨーロッパ文化・文化史特講C②		ヨーロッパ文化・文化史特講D②						
	アメリカ文化・文化史特講A②		アメリカ文化・文化史特講B②							
日本文化・文化史特講A②		日本文化・文化史特講B②								
アジア文化・文化史特講A②		アジア文化・文化史特講B②								
アジア文化・文化史特講C②		アジア文化・文化史特講D②								
広域基礎科目	世界の言語文化②		世界の宗教文化②							
	国際文化研究A②		国際文化研究B②		国際文化研究C②		国際文化研究D②			
世界美術史A②		世界美術史B②		日本美術史A②		社会学入門②				
		日本史概論Ⅰ②		日本史概論Ⅱ②		世界史概論Ⅰ②				
		世界史概論Ⅱ②		人文地理学②		自然地理学②				
		地誌学②		現代の政治学②						

4 現代社会学科

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム									
		1年次		2年次		3年次		4年次			
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8		
専 門 科 目 選 択 科 目	必修専門	現代社会入門②		コミュニケーション論入門②							
		社会学入門②		メディア論入門②							
	演習科目			社会学史②		メディア史入門②					
		現代社会研究の基礎Ⅰ②		現代社会研究の基礎Ⅱ②							
				現代社会研究の方法Ⅰ②		現代社会研究の方法Ⅱ②					
						演習Ⅰ②					
								演習Ⅱ②			
										演習Ⅲ②	
										演習Ⅳ②	
										卒業論文⑧	
社会学基礎	家族社会学②		都市社会学②		社会心理学②		歴史と社会②				
社会学発展			社会階層論②		ライフコースの社会学②		ボランティア・NPOの社会学②				
調査科目	社会調査入門②		社会調査の方法②		量的調査入門(統計学)②		質的調査入門(資料分析)②				
メディア研究基礎	情報社会論②		メディア文化論②		ネットワーク社会論②		メディア産業論②				
メディア研究発展	メディア制度史②		マス・コミュニケーション論②		メディア・リテラシー論②		ジャーナリズム論②				
実践科目			出版メディア論②		映像メディア論②		広告論②				
現代社会研究			デジタル・メディア論②		情報デザイン論②		メディアの理論②				
広域基礎科目			サブカルチャー論②		メディアとアート②						
					社会調査演習Ⅰ②		社会調査演習Ⅱ②				
			メディア・リテラシー演習A④		メディア・リテラシー演習B④						
			コミュニティ演習A②		コミュニティ演習B②						
	現代社会研究A②		現代社会研究B②		現代社会研究C②		現代社会研究D②				
	現代社会研究E②		現代社会研究F②								
	日本史概論Ⅰ②		日本史概論Ⅱ②		世界史概論Ⅰ②		世界史概論Ⅱ②				
	世界史概論Ⅲ②		人文地理学②		自然地理学②		地誌学②				
			現代の政治学②								

(注) 選択科目の調査科目のうち、「社会調査入門」及び「社会調査の方法」は、当該年次・タームにおいて履修しなければならない。

5 自由設計科目

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム											
		1年次		2年次		3年次		4年次					
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8				
文学部 共通科目	トピック・セミナー	トピック・セミナーA② トピック・セミナーB② トピック・セミナーC② トピック・セミナーD② トピック・セミナーE② トピック・セミナーF②											
	ことばの世界		ラテン語②	古典ギリシア語②									
	東洋文庫 連携科目	展示から探る歴史・文化②											
	芸術文化行政 コース開設科目	文化政策学② アート・アドミニストレーション② 地方自治体の文化行政② 文化政策と法② 舞踊論② アート・ジャーナリズム② 上演芸術論② 芸術文化行政特講A② 芸術文化行政特講B② 写真論②											
			制作演習A②		制作演習B②		制作演習C②		制作演習D②		制作演習E②		制作演習F②
	日本語教員養成 コース開設科目	日本語教育概論② 日本語教育方法論② 日本語教育理解と実践② 日本語教育事情② 言語学講義(言語と社会)② 日本語の学習と習得② 言語の構造② 対照言語学②											
			日本語教授法②										
		日本語教育演習②				日本語教育実習①							
文学部総合講義	文学部総合講義A②		文学部総合講義B②		文学部総合講義C②		文学部総合講義D②		文学部総合講義E②		文学部総合講義F②		
複合・学際科目	全学共通科目 超過単位												
	E A G L E 科目	International Business② Japanese Economy② Current Topics in Business and Economics② International Relations② Regional Studies② Current Topics in Global Issues② Japanese Contemporary Issues② Japanese Traditional Culture② Current Topics in World Affairs②											
	他学科・ 他学部・ 他大学	他学科の専門科目、他学部の専門科目及び単位互換制度による他大学開講科目で修得した単位											

別表第3 教職の教科に関連する科目 (第3条関係)

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		授業科目・単位数・年次・ターム							
		1年次		2年次		3年次		4年次	
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
教職の教科に関連する科目	国語	書道(書写を中心とする。)②							

(注) 「書道(書写を中心とする。)」は、日本文学科の学生で、中学校教諭免許状(国語)取得希望者のみ履修することができる。

別表第4 進級に必要な修得単位数 (第12条関係)

1 1年次終了時

別表第1に掲げる卒業に必要な単位を18単位以上修得しなければならない。

2 2年次終了時

修得すべき授業科目・単位			卒業に必要な修得単位数	
次の授業科目の単位を含む卒業に必要な修得単位数				
英語英米 文学科	英語科目 (必修・選択必修) 英語必修科目	10	62	
日本文科	日本語・日本文学入門Ⅰ及び 日本語・日本文学入門Ⅱ	4		
	古典文学基礎研究Ⅰ 古典文学基礎研究Ⅱ 近現代文学基礎研究Ⅰ 近現代文学基礎研究Ⅱ 日本語学基礎研究Ⅰ 日本語学基礎研究Ⅱ	4		
	国際文化 学科	英語科目 (必修・選択必修)		4
	現代社会 学科	英語科目 (必修・選択必修)		3

(注)「修得すべき授業科目・単位」のうち、英語英米文学科、国際文化学科及び現代社会学科の「英語科目 (必修・選択必修)」は、成蹊大学学則の別表第1「全学共通科目」の「英語科目」を指し、英語英米文学科の「英語必修科目」は、この学部規則の別表第2「1 英語英米文学科」の「英語必修科目」を指す。

3 3年次終了時

修得すべき授業科目・単位		
英語英米 文学科	セミナー500及び セミナー600	4
日本文科	古典文学基礎研究Ⅰ 古典文学基礎研究Ⅱ 近現代文学基礎研究Ⅰ 近現代文学基礎研究Ⅱ 日本語学基礎研究Ⅰ 日本語学基礎研究Ⅱ	12
	日本文学演習Ⅰ又は 日本語学演習Ⅰ	2
	日本文学演習Ⅱ又は 日本語学演習Ⅱ	2
	国際文化 学科	演習Ⅰ及び演習Ⅱ
現代社会 学科	演習Ⅰ及び演習Ⅱ	4